



# BUSINESS REPORT

第 65 期 中間報告書 2015.2.1 >>> 2015.7.31

積水ハウス株式会社

証券コード：1928

ECO FIRST<sup>1</sup> 環境省認定  
エコ・ファースト企業

業界初の(エコ・ファースト企業)として環境大臣より認定を受けました。

# 「シャーウッド」20年の歩みをたどって 進化する木造住宅の軌跡、そして未来の住まいへ

進化する木造住宅 シャーウッド

# SHAWOOD

従来の木造住宅の常識を変えた「シャーウッド」のデビューから今年で20年。

多くのお客様から支持を得ながら、木造住宅の新たな魅力を追求し、進化し続けてきた「シャーウッド」の軌跡をたどります。



## 1995年、木造住宅事業に本格参入 「シャーウッド」の誕生

木造住宅革命とも言える「シャーウッド」の誕生は1995年。積水ハウス木造(株)を吸収合併し、シャーウッド事業を立ち上げ、木造住宅事業へ本格参入したことに遡ります。

鉄骨住宅で培った技術を活かし、品質が安定した集成材を用いることで、構造強度に支えられた自由な空間づくりを実現した「シャーウッド」は、木造の常識を覆す画期的商品として、市場に大きなインパクトをもって迎えられました。

### 木材接合を変えた「シャーウッドMJシステム」

かつて柱や梁の接合は、木材同士を切り欠いて組み合わせる「仕口」や「継ぎ手」などの手法が主流でした。その常識を変えたのが、シャーウッドの「MJ(メタルジョイント)システム」です。専用設計の構造用金物で接合部を緊結する「シャーウッドMJシステム」は、木材の欠損や割れを抑え、安定した強度を発揮します。構造用金物の採用は、鉄骨住宅の技術を応用する自然な流れでした。



## 新構法「ハイブリッドS-MJ」への進化

「シャーウッド」の歴史は、木造住宅構法の歴史でもあります。無垢材から集成材への転換を促した「シャーウッド構法」は、プレカットや金物により接合部の強度を高めた「シャーウッドMJシステム」へと進化し、さらに土台・筋交い・通し柱の3つを排し、性能規定の運用を先駆的に導入した「シャーウッドS-MJシステム」が生まれました。

そして2014年8月、新開発の「ハイブリッドS-MJシステム」を「シャーウッド」の全商品に導入。在来工法の4倍となる業界最高強度の耐力壁や、モノコック構造の堅さとラーメン構造の高い自由度を併せ持つ構造、集成材と鋼材の一体化など、木造住宅初の技術を集積し、耐震性能を高めつつ、大開口の「スローリビング」を実現しています。



シャーウッドS-MJシステム



大開口の「スローリビング」を実現

1995年

「シャーウッド」誕生

1997年

MJ(メタルジョイント)システム

2004年

基礎ダイレクトジョイントや構造用耐力壁などを採用  
進化が深まったS-MJ(スーパーMJ)システム

2014年

ハイブリッドS-MJ  
システムへ

## 《 住まいの価値を高める陶版外壁「ベルバーン」》

2001年度から導入された「ベルバーン」は、「シャーウッド」の高級商品に使用される大型陶版外壁材です。工業製品として厳しい品質管理のもと、静岡工場および東北工場で生産しており、焼き物ならではの土の温かみや自然な風合いを持ちながら、耐候性と耐久性、強度に優れている点が特長です。釉薬（ゆうやく）を塗り、1100℃の高温焼成することで発色させているため、色褪せることなく美しさを保ち、年月を重ねるごとに深みが増した風格漂う外観が生まれます。

設計の自由度と構造の美しさという「シャーウッド」の魅力を引き立てる「ベルバーン」は、住まいの価値をより高め、お客様にご満足いただく上で大きな役割を果たしています。



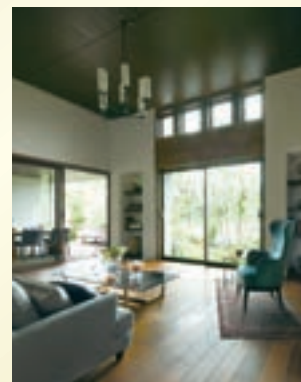
「グラヴィス・ヴィラ」  
20th Anniversary Edition

## 「シャーウッド」20周年記念モデルを発売 新技術「マルチレイヤーシステム」を開発



積水ハウスは8月1日、「シャーウッド」誕生20周年を記念したモデル「グラヴィス・ヴィラ」20th Anniversary Editionを発売しました。

部屋ごとに天井高を変更できる新技術「マルチレイヤーシステム」による、自由度の高い居住空間づくりが特長です。この「マルチレイヤーシステム」は、工業化住宅として認定を取得しており、高性能な住宅を安定供給することができます。



天井高約3.7mの開放的な空間  
「ハイラウンジ」

### 天井高の自由変更による新たなスローリビング

2階床を約1.2m上げることで天井高約3.7mの空間を確保でき、伸びやかで、通風と採光に優れたリビング「ハイラウンジ」を実現します。高い天井高が心地良い開放的で快適な新しい「スローリビング」のスタイルです。

また「ハイラウンジ」の上部の新たな空間は、建物高さを上げず、小屋裏を有効利用する技術を開発することで居室空間「ロフトスペース」を実現。従来、屋根と天井の間的小屋裏は、収納スペースなどに利用されてきましたが、「ロフトスペース」は、光と風を取り込み、ダイナミックで個性的な居室空間として活用します。



変化のある多層空間を可能にした  
「マルチレイヤーシステム」

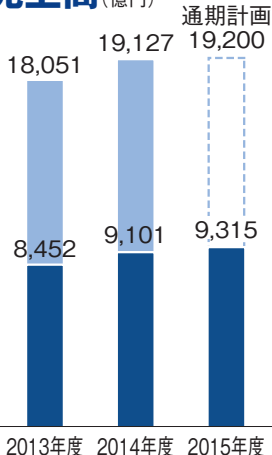


勾配天井が魅力の  
「ロフトスペース」



# 連結決算ハイライト

## 売上高 (億円)

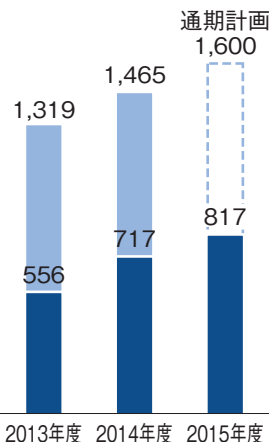


**9,315 億円**

前年同期比 +2.4%

不動産フィー事業、都市再開発事業をはじめとする開発型ビジネスが牽引し、増収となりました。

## 営業利益 (億円)

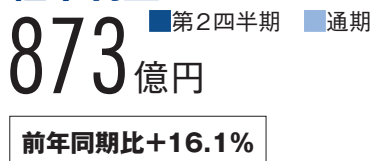


**817 億円**

前年同期比+14.0%

生産、物流、施工等、グループ力を活かした利益体質の強化が進み、また、都市再開発事業の物件売却により大幅な増益。営業利益率は0.9ポイント改善し、8.8%となりました。

## 経常利益 (億円)

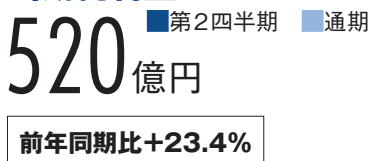


**873 億円**

前年同期比+16.1%

シンガポール事業の利益計上や為替差益の影響により、営業外収支が改善しました。

## 当期純利益 (億円)



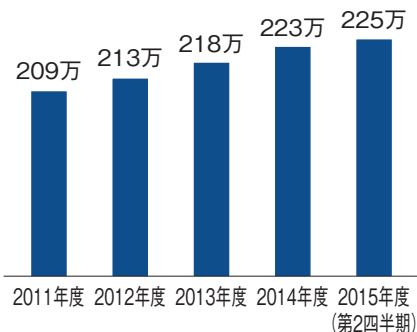
**520 億円**

前年同期比+23.4%

増収増益の結果、EPSは74.09円になりました。

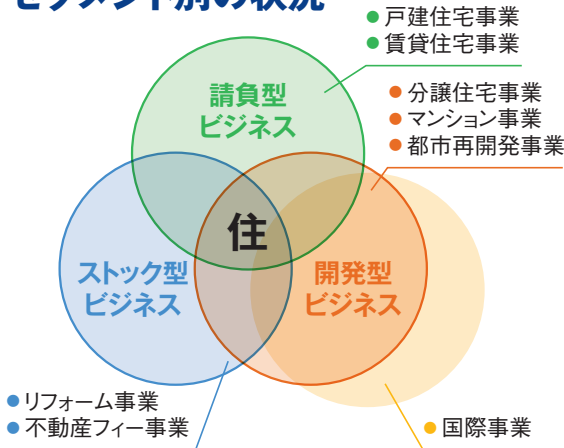
## 累積建築戸数 (戸)

**225万9,715 戸**

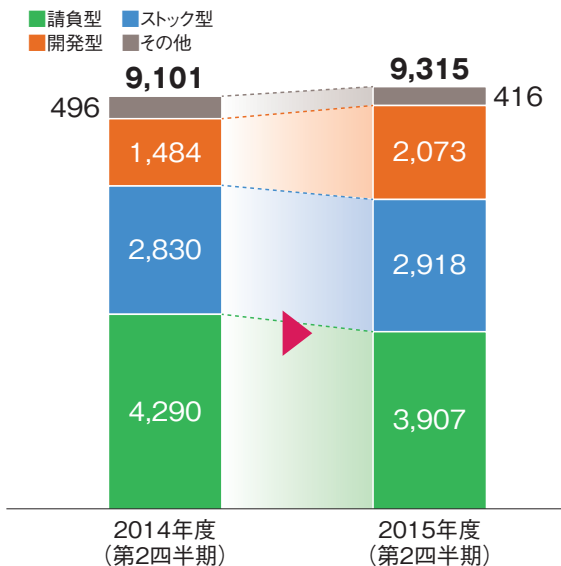


累積建築戸数は23,301戸増え、225万9,715戸となりました。

## セグメント別の状況



## 事業別売上高 (億円)



### 請負型ビジネス

■ **戸建住宅事業** **1,960** 億円 (13.9%減)  
 昨年の消費増税の反動減等の影響を受け減収となるも、足元では昨年を上回る受注の推移となっています。

■ **賃貸住宅事業** **1,946** 億円 (3.4%減)  
 3・4階建て商品の販売戦略が奏功し、加えて、相続税対策等による需要も強く、堅調な状況が続きました。

### ストック型ビジネス

■ **リフォーム事業** **685** 億円 (2.4%減)  
 昨年の消費増税前の駆け込み需要の影響が残り、前年同期比2.4%の減収となりました。

■ **不動産フィー事業** **2,232** 億円 (4.9%増)  
 賃貸住宅事業の物件供給の増加に伴い、一括借上げ及び管理住宅戸数の増加や、高い入居率の維持等により増収となりました。

### 開発型ビジネス

■ **分譲住宅事業** **737** 億円 (26.0%増)  
 分譲地を活用した積極的な販売施策により、売上高は計画を上回る結果となりました。

■ **マンション事業** **419** 億円 (30.3%増)  
 大型物件等の引渡しがあり増収となりました。計画に対して順調に推移しております。

■ **都市再開発事業** **642** 億円 (132.8%増)  
 賃貸収入の増加やリートへの物件売却が寄与し、前年同期比132.8%と、大幅な増収となりました。

■ **国際事業** **274** 億円 (8.8%減)  
 米国での物件販売は好調だったものの、オーストラリアでのマンションの引き渡しが端境期にあり、前年同期比8.8%の減収となりました。

■ **その他** **416** 億円 (16.0%減)  
 請負型ビジネスの売上減少に伴い、エクステリア事業が減収となりました。

順調に推移する中期経営計画。  
その歩みを加速させ、  
新たなビジネスモデルを構築します。



代表取締役社長兼 COO  
阿部 俊則

代表取締役会長兼 CEO  
和田 勇

### 拡大する“住”関連ビジネス。 社会課題の解決が成長につながる。

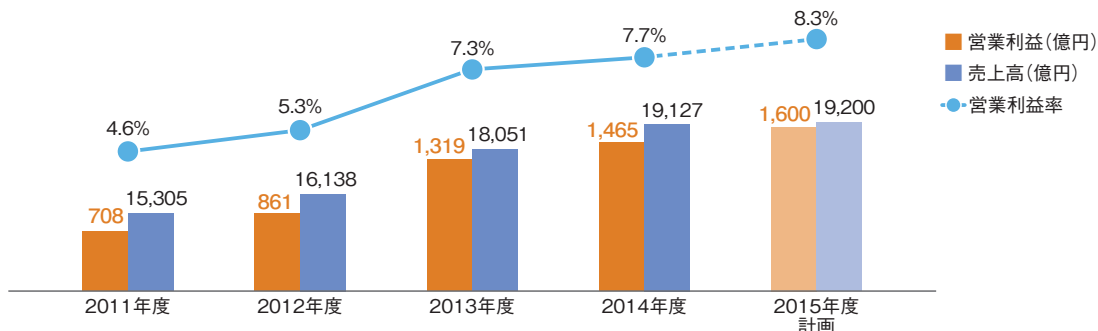
「2014年度中期経営計画」が業績、事業戦略ともに順調に推移しています。今後もこの確かな歩みを加速させ、さらなる事業拡大、利益成長を目指すことを、まず、株主の皆様にお約束させていただきます。

基本方針にも掲げている「住」関連ビジネスは、成長余力の大きい有望分野です。市場規模は拡大の一途。社会全体が新たな機能、役割を担った住環境の進化に大きな期待を寄せているともいえます。積水ハウスは住宅建設をコア事業として成長することを大前提に、社会の要請に応えるという意味でも、「住宅産業のあり方を変える」という意識と決意で、新たなビジネスモデルの構築に邁進します。

優良な住宅をスムーズに流通させることもそのひとつ。中古住宅の価値が正しく評価されるようになれば、新築時に多少のコストをかけてでも、優良な住宅を購入するようになり、そしてその優良な住宅はやがて中古住宅として流通するようになります。優良な中古住宅を購入し、ライフスタイルに合わせてリフォームしてそこに住む。良い住宅を壊すことなく社会資本として使い続けることは、持続可能な社会づくりの視点からも重要な課題です。積水ハウスは「優良ストック住宅推進協議会」の活動（スムストック）の本格化に、積極的に貢献します。

また、地球温暖化や、エネルギー問題対策に関しても、圧倒的に総数の多い既存住宅への対応がより大きなインパクト

### 業績の推移



を与えます。今では「家庭で電気をつくる」という考え方は着実に浸透してきましたが、積水ハウスは、新築住宅を対象にいち早くこれに対応し、環境配慮型住宅の普及に努めてきました。今後は、既存住宅への普及も視野に入れていかねばなりません。太陽光発電の普及をはじめとする、これまでの活動に加え、マンションのベランダなどでも設置が容易なコンパクトな家庭用燃料電池の普及が、今後大きなカギを握ると積水ハウスは考えています。燃料電池の普及には、行政による政策的な後押しが必要です。そして、その牽引役になるのは紛れもなく我々、住宅メーカーなのです。

こうした観点から、既存住宅に照準を合わせると、リフォームや大規模なリノベーションなど、新たな事業展開の可能性が多角的に拡大することがわかります。社会が抱えるさまざまな課題を解決に導く方策の中に、私たちの成長につながるいくつもの道があるのです。つまり、「住宅から社会を変える」ということです。

## 時代をリードする新商品、新展開。 さらに、人材育成で競争力アップ。

積水ハウスは、「請負型ビジネス」において、新商品、新技術を投入し、時代をリードする「いつもいまが快適」な住まいづくりを追求し続けています。積水ハウスの木造住宅「シャークウッド」は、誕生から今年で20年を迎え、今年8月に「20周年記念モデル」を発表しました。都市近郊の限られた敷地でも、天井高の自由度を高めることで開放的で快適なスローリビングが実現できる期待の商品です。好調な3・4階建て住宅に関しては、4階建てシステム力強化に向けた開発や価格競争力を高め、シェア拡大に向けて取り組んでいます。

そして、昨年、誕生30周年を迎えた鉄骨戸建住宅の主力

商品「イズ・シリーズ」では、オリジナル外壁「ダインコンクリート」の新柄「シェードボーダー」を開発。光と影をデザインすることで彫の深さと重厚感をより強調できるものとなっています。今後も色褪せることのない価値を持つ「街の財産」として、存在感を保ち続けます。

「ストック型ビジネス」には、グループ会社である積和建設のリフォーム新ブランド“Re:QUEST”（リ・クエスト）誕生というニュースがあります。リフォームやリノベーションは、いうまでもなく“住”関連ビジネスの中核事業です。“Re:QUEST”は、自社商品ではないあらゆる住宅に対応できる点をアピールし、受注拡大を図る計画です。最大のセールスポイントは、積水ハウスグループの総合力に裏付けられた「安心と施工力」。古民家再生などの伝統工法や最新テクノロジーを駆使した大規模リノベーションにも、積水ハウスのグループ連携を活かし、多種多様な提案、的確な対応ができる体制を整えています。

「開発型ビジネス」は、不動産投資効率の最大化を図る、いわゆるCRE（Corporate Real Estate）事業を積水ハウスグループの強みを最大限に活かした手法で推進します。例えば、UR都市機構との共同開発、「東京・江古田三丁目地区」でのまちづくりがあります。子育て世代や高齢者、学生も住民となり、共に暮らす多世代交流型のコンパクトシティ。「防災」「医療」「緑の活用」など、今日的課題への先進の提案を用意しました。今後も“住宅から社会を変える不動産活用”の成功事例を世の中に示していきたいと考えています。

「請負型」「ストック型」「開発型」、いずれのビジネスにおいても、今後、競争力をより強化するためには人材育成が重要なテーマになります。特に技術系社員のスキルは、成長戦略の推進力、経営のバックボーンにもなります。現在、積水ハウスには、業界最多の約2,500名の一級建築士がいます。こうし

た社員の専門技能を最前線でフル活用するとともに、設計のスペシャリストとしての「チーフアーキテクト」、「チーフコンストラクター」(現場監督)に加え、「構造計画スペシャリスト」、「プラチナスペシャリスト」(高齢者向け住宅の設計)といった社内資格を新たに認定し、個々の意識と技能向上を促す体制づくりに努めています。

## 住宅から社会を変える。 期待される中、その動きが本格化。

積水ハウスは、経産省と東証が共同で、今年新たに創設された「攻めのIT経営銘柄」の18銘柄の1つに、建設業界で唯一選定されました。評価の大きなポイントは、生産効率、営業利益率の向上にも結びつく「邸別一気通貫システム」。お引渡し済の建物を含めたビッグデータの整備は、グループ連携の基盤となり、新規事業の拡大にも活用しています。

住宅会社の役割が広がり、質的にも年々向上しています。良質な住環境の整備は、地方創生などの政策課題とも大きく関係します。高齢者が東京圏などから希望に応じて地方に移住し、新たな環境で「健康長寿」を考える「日本版CCRC構想」も住環境問題を避けて論じることはできません。若年層の地方定住促進策についても同じことがいえます。こうし

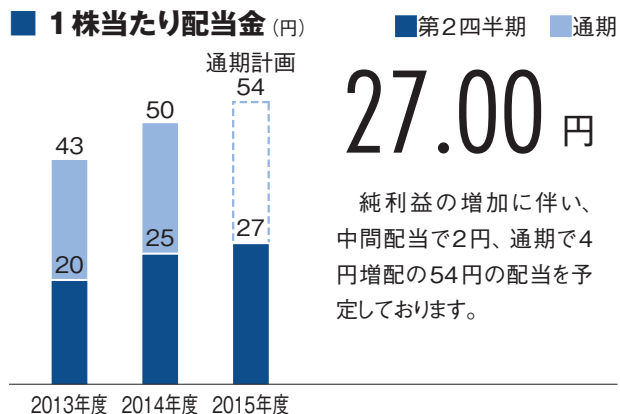
た動きに、積水ハウスは住宅業界のリーディングカンパニーとして専門的な立場から提言するとともに、社会的意義のある新たな需要創出に取り組みます。

積水ハウスは、住宅請負、リフォーム事業のトップ企業でもあります。住宅産業の健全な市場拡

充にも、リーダーとしての責任を果たし続けなければいけません。今後、住環境創造への多面的なアプローチで、例えば消費税増税などにも左右されない、強靱でしなやかな企業体質づくりに注力することで、社会の、そして、株主の皆様のご期待に沿える成長を目指し続けます。

総還元性向は前期同様60%を確保し、資本効率の改善を進め、ROE(株主資本利益率)も引き続き10%以上の定着を目標とすることを、改めてお約束させていただきます。

社会を変えるという住宅の役割が本格化するのはいずれからです。私たちには、その役割をリードする技術力、提案力など有効な多くの“引き出し”、潜在力があります。短期、中長期の戦略を効果的に組み立て、グループの連携力を発揮して、常に機動的かつ安定した事業展開を行う積水ハウス。その可能性、一歩先を行く成長力にご期待ください。





# 連結財務諸表

## 連結貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	当第2四半期末 (2015年7月31日現在)	前期末 (2015年1月31日現在)
<b>資産の部</b>		
流動資産	1,208,723	1,129,266
固定資産	803,379	800,143
有形固定資産	558,030	543,711
無形固定資産	15,743	16,123
投資その他の資産	229,606	240,307
資産合計	2,012,103	1,929,409
<b>負債の部</b>		
流動負債	631,275	562,235
固定負債	287,044	288,109
負債合計	918,320	850,345
<b>純資産の部</b>		
株主資本	922,151	912,850
資本金	202,591	197,716
資本剰余金	253,559	248,684
利益剰余金	486,019	466,950
自己株式	△ 20,018	△ 500
その他の包括利益累計額	160,728	155,573
新株予約権	581	536
少数株主持分	10,321	10,104
純資産合計	1,093,783	1,079,064
負債純資産合計	2,012,103	1,929,409

## 連結損益計算書

(単位：百万円)

科 目	当第2四半期(累計) (2015年2月1日から 2015年7月31日まで)	前第2四半期(累計) (2014年2月1日から 2014年7月31日まで)
売上高	931,572	910,146
売上原価	739,125	728,334
売上総利益	192,446	181,811
販売費及び一般管理費	110,733	110,107
営業利益	81,713	71,704
営業外収益	8,290	5,812
営業外費用	2,678	2,312
経常利益	87,325	75,203
特別利益	4,228	307
特別損失	3,986	3,784
税金等調整前四半期純利益	87,567	71,727
法人税等	35,120	28,754
少数株主利益	391	792
四半期純利益	52,055	42,180

## 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科 目	当第2四半期(累計) (2015年2月1日から 2015年7月31日まで)	前第2四半期(累計) (2014年2月1日から 2014年7月31日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	△ 4,719	△ 50,366
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 51,704	△ 113,795
財務活動によるキャッシュ・フロー	48,280	125,803
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 207	△ 1,123
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△ 8,350	△ 39,481
現金及び現金同等物の期首残高	195,008	181,324
現金及び現金同等物の四半期末残高	186,657	141,842

# NEWS FLASH

ニュースフラッシュ

## ISシリーズ「ダインコンクリート」外壁の新柄「シェードボーダー」を開発

### 光と影をデザインした外壁

鉄骨戸建住宅「イズ・シリーズ」が採用する「ダインコンクリート」は、強度と耐久性に優れ、美しい表情を持つ外壁材です。積水ハウスは7年ぶりにこの「ダインコンクリート」の新柄「シェードボーダー」を開発し、2015年8月に発売しました。

従来比約2倍の太さの横目地で深い影をつくり、柄の上端に45°の傾斜部を設けて光を反射させることで明度を上げました。「シェードボーダー」は、光と影を巧みにデザインすることで彫の深さと重厚感をより強調しています。



光と影をデザインして彫の深さを強調

ダインコンクリート外観

## リフォーム・リノベーション事業を強化

### 1 積和建設のリフォーム新ブランド「Re:QUEST」

積和建設は、成長が見込まれる一般住宅市場でのリフォーム・リノベーションニーズの掘り起こしに向けて、新たにリフォームの統一ブランド「Re:QUEST (リクエスト)」を制定しました。

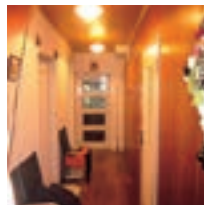
住空間の再構築 (Restage)、ライフスタイルの再編 (Restyle)、価値の再生・再創造 (Revalue) という3つのテーマに沿って、さまざまなニーズに応える提案型リフォームを推進していきます。

### 2 Amazonでネットリフォームビジネスに参入

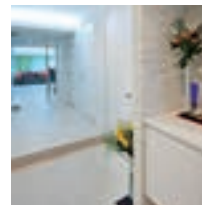
積水ハウスグループは、積和建設を通じて総合オンラインストア Amazon.co.jp が開設した「リフォームストア」に出品し、ネットリフォームビジネスに参入しました。新築・リフォームNo.1の実績と全国施工力を活かし、キッチンやユニットバスなど比較的小規模なリフォームメニューを取り揃えた「定額パッケージ型リフォーム」を4,000品目以上出品しています。この取り組みにより、小規模リフォームの強化を図るとともに、お客様との接点を増やし、リフォーム事業の拡大を図ります。

「しかななく」から「したくなる」リフォームへ。  
**Re:QUEST**

積水ハウスグループ 積和建設のリフォーム **リクエスト**



施工前



施工後



施工事例

## 「積水ハウス エコ・ファースト パーク」を関東工場にオープン

### 住まいと環境を学べる場として一般公開

積水ハウスはこれまでの環境技術の先端を提示してきた実証実験住宅3棟を関東工場（茨城県古河市）に集め、新たに「積水ハウス エコ・ファースト パーク」として2015年5月より一般公開を開始しました。

さまざまな社会課題解決の中心として住まいを捉え、次世代育成を重点テーマに「住まいから社会を変える」を体感、理解できる「学びの場」として、広く活用できる施設を目指します。

#### ●積水ハウス エコ・ファースト パーク

**所在地** 茨城県古河市北利根8 関東工場敷地内 **休業日** 土日祝日、積水ハウスの休日（年交）  
**交通** JR宇都宮線 古河駅から車で20分 年末始・夏季休日・創立記念日  
**開業時間** 10:00～17:00／入場無料 ただし、イベント開催日等は除く

※見学には事前予約が必要です。以下のWEBサイトからお願いします。  
<http://www.sekisuihouse.co.jp/efp/>

#### 社会課題①「地球温暖化」を「暮らし」から解決

風の家



あしたの家



木の家



#### 社会課題②

「生態系」問題を「庭」から解決

生きものの庭



#### 社会課題③

「資源」問題を「建設現場」から解決

資源の泉



## 「攻めのIT経営銘柄」に建設業界で唯一選定



攻めのIT経営銘柄  
 Competitive IT Strategy Company

### 積極的なIT活用、IT経営が評価

2015年5月、経済産業省と東京証券取引所が共同で創設した「攻めのIT経営銘柄」の選定企業が発表され、積水ハウスは全18銘柄中、建設業界から唯一選定されました。

積水ハウスは今回、住宅メーカーにおけるCADの位置付けの拡大、営業・設計・工場・施工・アフターメンテナンスに至るまで一邸ごとの情報を一元管理するとともに、モバイル端末を積極的に活用することで業務改革、生産改革、施工の平準化などを実現したことで高い評価を獲得しました。

## 「ワンセントラルパーク」が環境建築の世界最高賞を受賞

### 国際不動産見本市で受賞

2015年3月、フランスの国際不動産見本市「MIPIM」\*において、オーストラリア・シドニーの「セントラルパーク」プロジェクトの「ワンセントラルパーク」棟が「Best Innovative Green Building（革新的な環境建築の世界最高の建築賞）」部門において日本の民間企業として初めて「世界最高賞」を受賞しました。同プロジェクトは、積水ハウスとフレイザーズ・センター・ポイント社による共同建築事業です。ビル内部に外光をもたらす反射板をはじめ、環境配慮に関する先進的なシステムとデザインが評価され、受賞につながりました。



\*「MIPIM」とは、「世界の不動産プロフェッショナルが集まる場」という意味の略で、不動産業界関係者が注目する最も大きな世界的式典のひとつ

# 株主様見学会のご報告

～総合住宅研究所編～

株主の皆様へ積水ハウスの事業活動へのご理解を深めていただく機会として、7月1日に「総合住宅研究所」見学会を開催いたしました。

当日は朝から悪天候に見舞われたものの、多数の皆様にご参加いただきました。

普段なかなか見ることができない研究施設の見学や、納得工房での体験学習を通じ、ご参加の皆様へ積水ハウスへの信頼を高めていただきました。

ここでは見学会当日の様子をご紹介します。



## 研究施設を見学



「遮音性能・室内音響」の研究室で、室内6面全てが吸音材に囲まれた「無響室」で音が響かない不思議な体験をしていただきました。

## 納得工房で体験学習

「生涯住宅ゾーン」では積水ハウスが長年にわたって研究している「生涯住宅思想」をご説明。積水ハウスのユニバーサルデザインを体験いただきました。



制震構造「シーカス」の高い制震性能を目の前の数値で確認。また、震度7の揺れを身体で体験いただきました。



## 住まいの夢工場体験

## IRプレゼンテーション

見学終了後、積水ハウスの業績動向に関するプレゼンテーションを行い、株主様からさまざまなご質問を頂戴しました。





ご好評につき  
追加開催

# 株主様見学会開催のご案内

## —総合住宅研究所—

定員  
80名

左記「総合住宅研究所」見学会には多くの株主様からお申込みをいただき抽選による見学会実施となりました。大変好評でしたので同見学会を追加開催いたします。なお、今回は追加開催につき、定員80名とさせていただきます。前回ご参加いただけなかった株主様をはじめ、皆様からのご応募をお待ちしております。

### 見学場所

積水ハウス(株)  
総合住宅研究所(京都府木津川市)

### 開催日時

2015年11月25日(水)  
10:30 ~ 17:00 (予定)

### 対象者

2015年7月31日現在、当社株式100株  
以上をご所有の株主様(ご同伴者様2名まで可)

### 集合・ 解散場所

近鉄京都線 高の原駅  
集合場所に駐車場のご用意はございません。  
見学場所との往復はバスにて送迎いたします。

### 参加費

無料  
(集合・解散場所までの往復交通費は株主様  
のご負担とさせていただきます。)

### 応募方法

はがきに必要な事項をご記入の上、ご郵送ください。(郵送料につきましては株主様にてご負担くださいますようお願い申し上げます。)

### 締切

**2015年10月14日(水) 当日消印有効**  
ご応募多数の場合は抽選とさせていただきますのでご了承ください。ご参加いただく株主様への詳細なご案内は2015年11月上旬までにご送付いたします。

### その他

- ご見学時の写真・ビデオ撮影はお断りさせていただいておりますのでご了承ください。
- ご応募により当社が取得する株主様(ご同伴者様)の個人情報を見学会を実施する上での業務以外には使用いたしません。

### 【はがき記入要領】

52円 切手	〒107-0052 東京都区赤坂4丁目15番1号 赤坂ガーデンシティ 積水ハウス株式会社 株主様見学会係行	<ol style="list-style-type: none"><li>① お名前</li><li>② 郵便番号</li><li>③ ご住所</li><li>④ 電話番号</li><li>⑤ 見学会当日の連絡先 (携帯電話番号など)</li><li>⑥ 同伴者様のお名前等 ①~③の項目</li></ol>
-----------	---	---

### 〈お問い合わせ先〉

積水ハウス株式会社 株主様見学会係  
(コーポレート・コミュニケーション部 IR室)  
電話 03-5575-1790  
9:00 ~ 18:00 (土・日・祝祭日を除く)

# 会社情報

## 会社概要

社名 積水ハウス株式会社  
 設立年月日(実質上) 1960年8月1日  
 本社 〒531-0076  
 大阪市北区大淀中一丁目1番88号  
 (梅田スカイビル タワーイースト)  
 TEL.(06)6440-3111(代)  
 資本金 2,025億9,120万円

## 役員一覧 (2015年7月31日現在)

代表取締役会長兼CEO	和田 勇	執行役員	吉崎 道夫
代表取締役社長兼COO	阿部 俊則	執行役員	山田 寿夫
取締役副社長兼副社長執行役員	和田 純夫	執行役員	松島 雄一
取締役副社長兼CFO兼副社長執行役員	稲垣 士郎	執行役員	三谷 和司
取締役	三枝 輝行	執行役員	岩田 晴幸
取締役	涌井 史郎	執行役員	赤松 大介
取締役兼専務執行役員	平林 文明	執行役員	黒田 章
取締役兼専務執行役員	伊久 哲夫	執行役員	石田 建一
取締役兼専務執行役員	内田 隆	執行役員	皆川 修
取締役兼常務執行役員	勝呂 文康	執行役員	大谷 修
取締役兼常務執行役員	西田 勲平	執行役員	尾形 則昭
常任監査役	岩崎 正	執行役員	島 利一
常任監査役	吉田 憲五	執行役員	寺村 太志
監査役	土肥 孝治	執行役員	内山 和哉
監査役	篠原 祥哲	執行役員	上條 英之
監査役	國原定 浩一	執行役員	三浦 敏治
常務執行役員	藤原 元彦	執行役員	仲井 嘉浩
常務執行役員	中田 孝治	執行役員	石井 徹
常務執行役員	芦田 登		
常務執行役員	佐藤 博之		
常務執行役員	堀内 容介		

## 主な事業所

- 東京支社 〒107-0052  
東京都港区赤坂四丁目15番1号  
(赤坂ガーデンシティ)  
TEL.(03)5575-1700(代)
- 東北営業本部 〒980-0014  
仙台市青葉区本町二丁目15番1号  
(ルナール仙台)  
TEL.(022)265-1705
- 東京営業本部 〒151-8070  
東京都渋谷区代々木二丁目1番1号  
(新宿マインズタワー)  
TEL.(03)5352-3200
- 東京シャーマンズ事業本部  
〒151-8070  
東京都渋谷区代々木二丁目1番1号  
(新宿マインズタワー)  
TEL.(03)5352-3220
- 神奈川営業本部 〒220-8120  
横浜市西区みなとみらい二丁目  
2番1号(横浜ランドマークタワー)  
TEL.(045)650-7311
- 埼玉営業本部 〒330-0854  
さいたま市大宮区桜木町一丁目  
7番5号(ソニックシティビル)  
TEL.(048)647-3931
- 東関東営業本部 〒261-7119  
千葉市美浜区中瀬二丁目6番1号  
(WBG マリアイースト)  
TEL.(043)350-1811
- 北関東営業本部 〒320-0811  
宇都宮市大通り二丁目1番5号  
(明治安田生命宇都宮大通りビル)  
TEL.(028)636-6761
- 中部第一営業本部 〒450-6042  
名古屋市名村区名駅一丁目1番4号  
(JRセントラルタワーズ)  
TEL.(052)533-1637
- 中部第二営業本部 〒422-8067  
静岡市駿河区南町18番1号  
(サウスポット静岡)  
TEL.(054)284-1222
- 西日本シャーマンズ事業本部  
〒531-0076  
大阪市北区大淀中一丁目1番93号  
(梅田スカイビル ガーデンシックス)  
TEL.(06)6440-3456
- 関西第一営業本部 〒531-0076  
大阪市北区大淀中一丁目1番93号  
(梅田スカイビル ガーデンシックス)  
TEL.(06)6440-3645
- 関西第二営業本部 〒604-8186  
京都市中京区烏丸通御池下  
梅屋町358番地  
(アーバネックス御池ビル西館)  
TEL.(075)211-6201
- 中国営業本部 〒731-0113  
広島市安佐南区西原五丁目16番6号  
(ケイ・ટેイビル)  
TEL.(082)871-7701
- 四国営業本部 〒761-8062  
高松市室新町1019番地1号  
TEL.(087)867-5101
- 九州営業本部 〒812-0011  
福岡市博多区博多駅前三丁目25番  
21号(博多駅前ビジネスセンター)  
TEL.(092)472-3211
- 国際事業部 〒531-0076  
大阪市北区大淀中一丁目1番88号  
(梅田スカイビル タワーイースト)  
TEL.(06)6440-3723
- 開発事業部 〒531-0076  
大阪市北区大淀中一丁目1番88号  
(梅田スカイビル タワーイースト)  
TEL.(06)6440-3565
- マンション事業本部 〒160-0023  
東京都新宿区西新宿一丁目20番  
2号(ホウライビル)  
TEL.(03)6302-3621

## IRカレンダー

- 2015年12月 上旬 ●第3四半期決算発表
- 2016年 3月 上旬 ●決算発表
- 4月 下旬 ●定時株主総会
- ●BUSINESS REPORT  
(第65期報告書)送付

# 株式情報

## 株式の状況 (2015年7月31日現在)

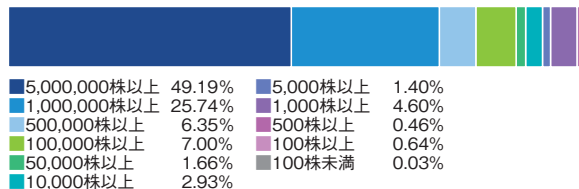
発行可能株式総数	1,978,281,000株
発行済株式の総数	709,683,466株
単元株数	100株
株主数	60,931名
株主1人当たり持株数	11,647株

### 大株主(上位10名)

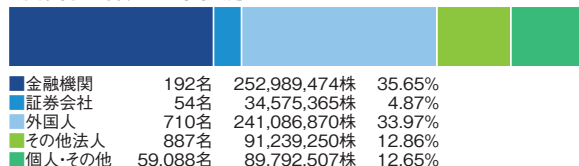
株主名	当社への出資状況	
	所有株式数(株)	所有比率
積水化学工業株式会社	52,168,727	7.35%
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	44,008,900	6.20%
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	32,042,000	4.51%
株式会社三菱東京UFJ銀行	13,624,515	1.92%
第一生命保険株式会社	12,158,730	1.71%
積水ハウス資資会	12,029,015	1.69%
THE BANK OF NEW YORK MELLON SA/NV10	11,431,901	1.61%
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505225	10,541,431	1.49%
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口9)	8,633,500	1.22%
STATE STREET BANK WEST CLIENT-TREATY 505234	7,961,186	1.12%

※自己株式9,681,647株については、上記の表に記載しておりません

### 所有株数別株式分布状況



### 所有者別株式分布状況



## 株主メモ

事業年度	2月1日から翌年1月31日まで
定時株主総会	4月
基準日	期末配当金 1月31日 中間配当金 7月31日

株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 TEL.0120-094-777 (通話料無料)
上場証券取引所	東京証券取引所・名古屋証券取引所 市場第1部

### 各種手続きについて

- 株主様の住所変更、買取請求その他各種手続きにつきましては、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)にお問い合わせください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問い合わせください。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

### 少額投資非課税口座(NISA口座)における 配当等のお受け取りについて

新規に購入された当社株式をNISA口座でご所有される場合、配当等につき非課税の適用を受けるためには、口座管理機関(証券会社等)を通じて配当等を受け取る方式である「株式数比例配分方式」をお選びいただく必要があります。ご所有の株式のうち、特別口座に記録された株式をお持ちの株主様は、特別口座から証券会社等へ振替いただくことで「株式数比例配分方式」をお選びいただくことができます。NISA口座等に関する詳細につきましては、お取引の証券会社等にお問い合わせください。

※本株主メモは2015年7月時点の情報をもとに作成しております。

“見どころいっぱい”

# 「住ムフムラボ」

探訪レポート  
いごちの  
カタチゾーン

SEKISUI HOUSE  
SUMUFUMULAB  
LABORATORY

グランフロント大阪(北館)  
ナレッジキャピタル4階  
JR大阪駅、各線梅田駅より徒歩圏内  
定休日▶水曜日・年末年始  
開館時間 10:00 - 19:00

入館  
無料



「生きるコトを、住むコトに。」をテーマに、積水ハウスの総合住宅研究所が運営する、暮らしと住まいのヒントを盛り込んだ情報発信施設「住ムフムラボ」。今回は、健やかで豊かな時間の過ごし方を考える「いごちのカタチゾーン」をご紹介します。自分にとっていごちのよさとは何なのかをじっくり考えてみる事ができる場所となっています。

移り変わる季節の心地よさを体験する

## 「いごちBOX」

照明を落とした18畳ほどの空間には、一段下がったピットリビング。訪れた人はBOX内の好きな場所に座り、映像とともに心地よい四季の変化やスローリビングをその場で体感できます。

スタッフレポート

8月開催の  
企画展紹介!

心地よく、健やかに。  
快適な夏の過ごし方

積水ハウスがこれまで積み重ねてきた夏を快適に過ごせる住まいの研究の中から生まれた工夫や暮らしのアイデアを紹介しました。



住まいの通風を比較確認できる模型も大好評



打ち水効果を身体と赤外線カメラで体験

からだもところもより健やかに生きる

## 「からだところWALL」

住まいの環境は健康を保つための基盤。目に見えない空気や眠りなど日々の暮らしを通してより健やかに生きることを提案します。



ユニバーサルデザインを考える

## 「いつもだれでもWALL」

安心なこと、使いやすいこと、そして、心地よいこと。ここでは、引き戸など誰にでも使いやすいデザインを確かめ、触れることができます。



## 積水ハウス株式会社

本社 〒531-0076 大阪市北区大淀中一丁目1番88号  
梅田スカイビル タワーイースト  
TEL.(06)6440-3111(代)  
<http://www.sekisuihouse.co.jp/>



この報告書は、FSC® 認証紙と、環境に優しい植物油インキを使用して印刷しています。